

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					中期 目標	成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度										
II-1-(4)-④ 総合的な災害対策の推進	1	⑥ ⑪ ⑬ ⑰	浸水対策事業	下水道計画課	近年、集中的な豪雨に起因する浸水被害が増加している。浸水被害を抑制するため、公共下水道の整備を進め、流域全体の浸水に対する安全度の向上を図る。	浸水被害の抑制 ※中期目標改訂	目標	—	—	1 地区	重点整備地区(9地区)の雨水整備(R7年度)	継続	2,860,000	1,760,000	減額	165,200	順調	「浸水リスク」や「都市機能集積度」を定量的に評価した上で新たに重点整備地区を設定した。 「重点整備地区」については、現行基準(53mm/h)に基づき、地形や雨の流れ、既設の雨水管やポンプ施設などの排水能力を十分に検証しながら、本市における過去最大規模の降雨(70mm/h)に対して、床下浸水の概ね解消を目指す。 また、豪雨災害時に市民が迅速な行動を取れるよう、防災・河川部局などと連携しながら、内水浸水想定区域図の拡充を図る。 R3年度は令和2年度2月補正予算(1,100,000千円)と合わせ、2,860,000千円の事業費を計上している。 【中期目標の変更内容】 中期目標は、現在策定中の「北九州市上下水道事業中期経営計画2025(R3~R7)」に基づき見直している。	順調	今後も整備箇所ごとの現場の状況に応じた最も経済的かつ効率的な方法を検討し、整備を行っていく。
	2	⑥ ⑨ ⑪ ⑬	地震対策事業(水道施設)	計画課	大規模な地震が発生した場合においても、安全で安定的な給水を確保するため水道施設の耐震化を実施するもの。	浄水施設耐震化率 配水池耐震化率 ※中期目標改訂	目標	浄水 33.2% 配水池 54.1%	浄水 59.2% 配水池 54.1%	浄水 59.2% 配水池 55.7%	浄水施設耐震化率 77.5%(R10年度) 配水池耐震化率 60.1%(R7年度)	継続	261,342	288,216	増額	4,610	順調	耐震化計画に基づき、計画どおり耐震化を実施していく。 【中期目標の変更内容】 中期目標は、現在策定中の「北九州市上下水道事業中期経営計画2025(R3~R7)」に基づき見直している。		
II-1-(4)-⑤ 公共施設などの耐震化の推進	3	⑥ ⑨ ⑪ ⑬	地震対策事業(下水道施設)	施設課	大規模な地震が発生した場合においても、最低限の下水処理が行えるように下水道施設の耐震化を実施するもの。 浄化センターに近接するポンプ場や災害拠点病院などから排水を受ける重要な15ポンプ場の耐震化に取り組む。	重要な15ポンプ場の耐震化率 ※指標追加 下水道施設の耐震化率(ポンプ場、浄化センター水処理施設) ※指標廃止	目標	—	—	20.0 %	重要な15ポンプ場の耐震化率 73.3%(R7年度)	継続	340,000	120,000	減額	10,690	順調	浄化センターに近接するポンプ場や災害拠点病院などからの排水を受ける重要な15ポンプ場の耐震化を優先的に進める。 R3年度は令和2年度2月補正予算(130,000千円)と合わせ、250,000千円の事業費を計上している。 【指標廃止・追加の理由】 現在策定中の「北九州市上下水道事業中期経営計画2025(R3~R7)」に基づき、中期目標及び成果指標を見直している。	順調	水道及び下水道施設について、引き続き、計画どおり耐震化を実施していく。
							実績	14.2 %	15.3 %	—	18.2%(R6年度)									
							達成率	100.0 %												
							目標	—	—	—										
							実績	—												
							達成率	—												

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標	
II-3-(4)-2 国際協力・交流の推進	4	① ③ ⑥ ⑧ ⑨ ⑪ ⑫ ⑬	上下水道技術の国際協力	海外事業課	アジアを中心とした国や地域（カンボジア、ベトナム国ハイフォン市など）への職員派遣や海外からの研修員受入などにより、本市の浄水技術や漏水削減などの技術の移転、下水道の計画づくりや維持管理等に関する指導を行うことで、海外の技術者の育成を進め、世界の水環境改善に貢献する。 併せて、国際技術協力を通じ、技術の継承や実務能力の向上など、本市職員の育成にも寄与する。	海外からの研修員受入人数 ※指標追加	目標				380 人	海外の技術者の育成・世界の水環境改善に貢献	継続	46,413	57,316	増額	41,700	順調	引き続きアジアを中心とした国や地域への職員派遣や、海外からの研修員受入によって、対象地域の技術・人材育成に貢献する。 また、国際技術協力を通じた人的ネットワークの構築を図りながら、本市職員の技術の継承や実務能力の向上など人材育成にも寄与する。 【指標廃止・追加の理由】 現在策定中の「北九州市上下水道事業中期経営計画2025（R3～R7）」に基づき、中期目標及び成果指標を見直している。	順調	日明浄化センター（ビクターセンター）やウォータープラザなどの国際戦略拠点を活用しながら、技術研修や視察などを受け入れ、効果的な国際技術協力事業を実施する。
							実績														
							達成率														
						国際技術協力でアジアの発展に貢献 ※指標廃止	目標	—	—			発展途上国の技術向上									
							実績	—	—												
							達成率	—	—												
III-1-(3)-1 安全で安定しておいしく飲める水道の整備	5	⑥ ⑨ ⑪ ⑬	配水管更新事業	計画課	老朽化した配水管を計画的に更新することにより、漏水、赤水、不出水の解消や管破損事故を防止し、安全で安定的な給水を確保する。	配水管の効率的・計画的な更新（累計） ※指標追加	目標				38.5 km	185km (R7年度)	継続	4,668,886	5,125,320	増額	296,125	順調	アセットマネジメントの手法を取り入れた第六期配水管更新計画に基づき、計画通り更新を実施する。 【指標廃止・追加の理由】 現在策定中の「北九州市上下水道事業中期経営計画2025（R3～R7）」に基づき、中期目標及び成果指標を見直している。	順調	配水管更新事業について、第六期配水管更新計画に基づき、計画どおり更新を実施していく。
							実績														
							達成率														
						安全で安定的な給水の確保 ※指標廃止	目標	—	—			40年以上経過した普通・高級鑄鉄製の配水管がない状態（R2年度）									
							実績	—	—												
							達成率	—	—												
III-1-(3)-3 快適で良質な生活環境をつくる下水道の整備	6	⑥ ⑪ ⑬ ⑭	合流式下水道改善事業	下水道計画課	合流式下水道で整備された地区は、大雨時に雨水で希釈された未処理下水の一部が川や海に流れ出ることがある。 放流先の汚濁負荷を分流式下水道並みに軽減するため、合流式下水道の改善に努め、良好な水環境をつくる。	良好な水環境の実現（合流改善達成率 R5：100%）	目標	—	—	84.0 %	合流改善の達成（100%）（R5年度）	継続	1,824,000	1,900,000	維持	121,150	順調	分流化、浄化センターでの簡易処理の高度化、夾雑物対策を実施し、公共用水域の汚濁負荷低減のため、合流式下水道の改善を推進する。 成果指標は、現在策定中の「北九州市上下水道事業中期経営計画2025（R3～R7）」に基づき見直している。	順調	今後も整備箇所ごとの現場の状況に応じた最も経済的かつ効率的な方法を検討し、整備を行っていく	
							実績	—	—												
							達成率	—	—												

上下水道局

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善													
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)						
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標					
VI-3-(3)-④ 下水汚泥などの循環利用	7	⑨ ⑪ ⑫	下水道資源の有効利用	施設課	下水汚泥のバイオマスエネルギーとしての燃料化や、さまざまな資源の有効利用を行う。	下水汚泥の有効利用率 ※中期目標改訂	100% (R1年度)	目標 99.0 %	実績 100 %	達成率 101.0 %	99.0 %	99.0 %	100.0 %	100% (毎年度)	継続	2,118,046	1,964,116	減額	127,275	順調	引き続き、汚泥燃料化施設を運用し、有効利用率を維持する。 【中期目標の変更内容】 成果指標は、現在策定中の「北九州市上下水道事業中期経営計画2025（R3～R7）」に基づき見直している。	順調	引き続き、下水道資源を有効利用していく。		
	8	① ③ ⑥ ⑧ ⑨ ⑪ ⑫ ⑬	上下水道技術の国際協力	海外事業課	アジアを中心とした国や地域（カンボジア、ベトナム国ハイフォン市など）への職員派遣や海外からの研修員受入などにより、本市の浄水技術や漏水削減などの技術の移転、下水道の計画づくりや維持管理等に関する指導を行うことで、海外の技術者の育成を進め、世界の水環境改善に貢献する。併せて、国際技術協力を通じ、技術の継承や実務能力の向上など、本市職員の育成にも寄与する。	海外からの研修員受入人数 ※指標追加	—	目標 —	実績 —	達成率 —	—	—	380 人	海外の技術者の育成・世界の水環境改善に貢献	継続	46,413	57,316	増額	41,700	順調	引き続きアジアを中心とした国や地域への職員派遣や、海外からの研修員受入によって、対象地域の技術・人材育成に貢献する。 また、国際技術協力を通じた人的ネットワークの構築を図りながら、本市職員の技術の継承や実務能力の向上など人材育成にも寄与する。 【指標廃止・追加の理由】 現在策定中の「北九州市上下水道事業中期経営計画2025（R3～R7）」に基づき、中期目標及び成果指標を見直している。		国際協力事業については、日明浄化センター（ビクターセンター）やウォータープラザなどの国際戦略拠点を活用しながら、技術研修や視察などを受け入れ、効果的な国際技術協力事業を実施する。 海外水ビジネスについては、「北九州市海外水ビジネス推進協議会」との連携を深めながら、国際戦略拠点を活用し、本市及び本市内企業の上下水道に係る技術や製品をアジアを中心としたビジネス対象国に発信するとともに、アジア低炭素化センターと協力しつつ、受注拡大を目指す。		
	9	① ③ ⑥ ⑧ ⑨ ⑪ ⑫ ⑬	海外水ビジネスの推進	海外事業課	上下水道分野などの海外水ビジネスは、今後も人口増加や都市化の進展により市場の拡大が見込まれ、国の成長戦略においても、水分野等のインフラシステム輸出を推進するとされている。本市では、平成22年に「北九州市海外水ビジネス推進協議会」を設立。官民が有する技術力やノウハウを結集し、計画づくりから設計、建設、維持管理、事業運営まで、地場企業による水ビジネス案件の受注を目指して事業を展開。併せて「ウォータープラザ北九州」を活用し、水ビジネスに向けた取組を進める。	市が関与するビジネス案件数 ※指標追加	—	目標 —	実績 —	達成率 —	—	—	6 件	海外水ビジネスを通じた地元企業の振興と国際貢献	継続	106,712	112,826	増額	76,300	順調	国際技術協力で培った信頼関係のもと、官民の技術やノウハウを結集した「北九州市海外水ビジネス推進協議会」を軸に、地元企業の水ビジネス展開を積極的に支援する。 併せて、ウォータープラザやビクターセンターなど水ビジネスの国際戦略拠点を活用し、地元企業の技術・製品を国内外に広く情報発信する。 【指標廃止・追加の理由】 現在策定中の「北九州市上下水道事業中期経営計画2025（R3～R7）」に基づき、中期目標及び成果指標を見直している。				
VII-1-(3)-② 上下水道、消防、交通などの分野における国際協力の推進						下水道に関する水ビジネス案件の受注 ※指標廃止	—	目標 —	実績 2,321 千円	達成率 —	—	—	—	海外水ビジネスを通じた地元企業の振興と国際貢献											

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善															
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業所 管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)										
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標									
VII-2-(1)-① アジア 低炭素 化セン ターを 核とし た都市 インフ ラビジ ネスの 推進	10	① ③ ⑥ ⑧ ⑨ ⑪ ⑫ ⑬	海外水ビジ ネスの推進	海外 事業 課	上下水道分野な どの海外水ビジ ネスは、今後も人 口増加や都市化の 進展により市場の 拡大が見込まれ、 国の成長戦略にお いても、水分野等 のインフラシステ ム輸出を推進すと されている。本市 では、平成22年に 「北九州市海外水 ビジネス推進協 議会」を設立。官 民が有する技術力 やノウハウを結集 し、計画づくりか ら設計、建設、維 持管理、事業運 営まで、地場企業 による水ビジネス 案件の受注を目指 して事業を展開。 併せて「ウォーター プラザ北九州」を 活用し、水ビジ ネスに向けた取組 を進める。	市が関与するビ ジネス案件数 ※指標追加	目標				6 件	海外水 ビジ ネス を通 じた 地 元 企 業 の 振 興 と 国 際 貢 献	継続	106,712	112,826	増額	76,300	順調	国際技術協力で培った信頼 関係のもと、官民の技術やノ ウハウを結集した「北九州市 海外水ビジネス推進協議会」 を軸に、地元企業の水ビジ ネス展開を積極的に支援する。 併せて、ウォータープラザ やビジターセンターなど水ビ ジネスの国際戦略拠点を活用 し、地元企業の技術・製品を 国内外に広く情報発信する。 【指標廃止・追加の理由】 現在策定中の「北九州市上 下水道事業中期経営計画2025 (R3~R7)」に基づき、中期 目標及び成果指標を見直して いる。	順調	北九州市海外水ビジネス推 進協議会との連携を深めなが ら、国際戦略拠点を活用し、 本市及び本市内企業の上下水 道に係る技術や製品をアジア を中心としたビジネス対象国 に発信するとともに、アジア 低炭素化センターと協力しつ つ、受注拡大を目指す。								
							実績	—																					
							達成率																						
						上水道に関する 水ビジネス案件 の受注 ※指標廃止	目標	—	—			海外水 ビジ ネス を通 じた 地 元 企 業 の 振 興 と 国 際 貢 献	継続	106,712	112,826	増額	76,300					順調	国際技術協力で培った信頼 関係のもと、官民の技術やノ ウハウを結集した「北九州市 海外水ビジネス推進協議会」 を軸に、地元企業の水ビジ ネス展開を積極的に支援する。 併せて、ウォータープラザ やビジターセンターなど水ビ ジネスの国際戦略拠点を活用 し、地元企業の技術・製品を 国内外に広く情報発信する。 【指標廃止・追加の理由】 現在策定中の「北九州市上 下水道事業中期経営計画2025 (R3~R7)」に基づき、中期 目標及び成果指標を見直して いる。	順調	北九州市海外水ビジネス推 進協議会との連携を深めなが ら、国際戦略拠点を活用し、 本市及び本市内企業の上下水 道に係る技術や製品をアジア を中心としたビジネス対象国 に発信するとともに、アジア 低炭素化センターと協力しつ つ、受注拡大を目指す。				
							実績	11,850	千円																				
							達成率	—																					
						下水道に関する ビジネス案件の 受注 ※指標廃止	目標	—	—			海外水 ビジ ネス を通 じた 地 元 企 業 の 振 興 と 国 際 貢 献	継続	106,712	112,826	増額	76,300					順調				国際技術協力で培った信頼 関係のもと、官民の技術やノ ウハウを結集した「北九州市 海外水ビジネス推進協議会」 を軸に、地元企業の水ビジ ネス展開を積極的に支援する。 併せて、ウォータープラザ やビジターセンターなど水ビ ジネスの国際戦略拠点を活用 し、地元企業の技術・製品を 国内外に広く情報発信する。 【指標廃止・追加の理由】 現在策定中の「北九州市上 下水道事業中期経営計画2025 (R3~R7)」に基づき、中期 目標及び成果指標を見直して いる。	順調	北九州市海外水ビジネス推 進協議会との連携を深めなが ら、国際戦略拠点を活用し、 本市及び本市内企業の上下水 道に係る技術や製品をアジア を中心としたビジネス対象国 に発信するとともに、アジア 低炭素化センターと協力しつ つ、受注拡大を目指す。	
							実績	2,321	千円																				
							達成率	—																					